

## 豊後大野警察署協議会

## 第3回会議の開催状況

## 第1 開催月日

令和4年12月20日（火）

## 第2 出席者

協議会 委員 5名  
警察署 署長、副署長、総務会計課長、生活安全刑事課長、地域交通課長、警備課長 6名

## 第3 議事の概要

## 1 業務説明等

警察署から

- ・ 業務重点推進状況

について説明がなされた。

## 2 主な意見等

## (1) 道路凍結等による交通事故の発生について

委員から「雪国では大雪で車が立ち往生しているが、豊後大野市内で積雪や凍結等によるスリップ事故の発生はあるのか」旨の質問がなされ、警察署から「積雪や凍結等による重大事故の発生は今のところない。1年前に一度、犬飼町から三重町に向かう国道326号沿いで、夜降った雪が朝方凍結し、車が滑って身動きが取れず渋滞したことはあるが、大きな事故にはなっていない」旨の回答がなされた。

## (2) 道路工事に伴う案内板等の増設について

委員から「大野町で4車線道路を工事しているが、なかなか工事が進んでおらず、片側一車線が通行できない状態である。まだ工事が続くようであれば、夜間照明や標識、案内板をもう少し増やして、誰でも分かるような表示をして頂きたい」旨の意見がなされ、警察署から「調査したうえで必要な措置を取りたい」旨の回答がなされた。

## (3) トラックによる店舗衝突事故について

委員から「先日、ダンプが店舗に突っ込んだ事故があったが、何故、直線道路で突っ込んだりするのかわかるのか。運転手は病気だったのか。その時の状況について分かれば教えて頂きたい」旨の質問がなされ、警察署から「事故の原因については、捜査中です。一般的には、持病や一定の病気がある方については、臨時適性検査により医療機関への受診を促したり、暫定停止処置等、早めの措置を講じています。そのためにも、免許取得や更新の際は、正直に自己申告して頂けるようドライバーの皆様にご協力頂いている」旨の回答がなされた。

## (4) 交通安全の啓発活動について

委員から「私達企業や団体が、幹線道路に立って交通安全の啓発活動を行っているが、自分が立っている意味を理解しておらず、ただ単に立つだけという人が多い。企業もやるなら役に立ちたいと思っているので、何の目的で立つのか、そのポイントだけでもいいし、その手法等も教えて頂ければ、立つ側も協力体制が得られ、今以上に良い啓発活動ができるのではないかと思います」旨の意見がなされた。

## (5) 前方不注視の要因とレンタカー会社に対する広報依頼について

委員から「前方不注視の要因はどのようなものがあるのか」旨の質問がなさ

れ、警察署から「単純に脇見運転で、一概にこれが多いとまでは言えないが、例えば、対向車に気を取られたとか、運転中にペットボトルが落ちたとか、車内の荷物が崩れたという理由等である」旨の回答がなされた。

委員から「最近、福岡、熊本、鹿児島といった県外ナンバーのレンタカーに乗った観光客が多く訪れている。田舎道は不慣れと思うので、レンタカーを借りる観光客に対して安全運転を呼びかける広報をレンタカー会社に依頼したらどうか」旨の意見がなされ、警察署から「今後検討したい」旨の回答がなされた。

(6) 特殊詐欺について

委員から「特殊詐欺で騙された方にお金が戻るケースは少ないのか」旨の質問がなされ、警察署から「特殊詐欺は、一つの犯人グループに騙された被害者が全国に何人も存在する。お金が戻ってくるケースが全くない訳ではないが、一概にお金が戻るとか戻らないとかは言えない」旨の回答がなされた。

委員から「怪しいメールが頻繁に送られてくる。SNSを使っている子ども達にも分かるような特殊詐欺の広報もして欲しい」旨の意見がなされ、警察署から「子どもに対する広報は、未来に対する醸成にもなると思う。警察もいかに広報するか考えており、今後、子どもに分かりやすい広報にも力を入れていきたい」旨の回答がなされた。

3 「後藤劇団」による特殊詐欺被害防止公演の視察

本年度の諮問事項「高齢者の被害防止対策」に関して、地域サロンや各種行事で公演を行っている「後藤劇団」の公演を視察した。

委員から「これからも高齢者の被害防止のため、活躍を期待する」旨の意見がなされた。